

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	当初作成年月日	直近の更新年月日
田子町	清水頭地区(川向、川代、椀山、袖平、清水頭、干草場)	令和3年2月	

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	440 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	311 ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	221 ha
i うち後継者について「有」の農業者の耕作面積の合計	120 ha
ii うち後継者について「無」の農業者の耕作面積の合計	101 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	7.4 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

この地域は、60才以上の農業者が耕作する面積が、全体の約50%ある。そのうち、後継者がいないとされる農地が約45%ある。他地域に比べ、後継者が多い地域であるため、引き続き後継者の確保に努めるとともに、後継者への経営継承も順次進めていく。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

清水頭地区の農地利用は、地元の中心経営体となる方々が担うほか、新規就農者の受入を促進していくことにより対応していく。

## (参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む 範囲
認農	A	水稲、葉たばこ	4.5 ha	水稲、葉たばこ	5.0 ha	大字田子、大字原
認農	B	水稲、葉たばこ 肉用牛	2.2 ha 2.0 頭	水稲、葉たばこ 肉用牛	2.2 ha 4.0 頭	大字田子
	C	水稲、葉たばこ	2.1 ha	水稲、葉たばこ	2.1 ha	大字田子
認農	D	水稲、野菜	6.0 ha	水稲、野菜	7.0 ha	大字田子
認農	E	水稲 肉用牛	6.0 ha 4.0 頭	水稲 肉用牛	6.0 ha 10.0 頭	大字田子
認農	F	水稲、葉たばこ	4.6 ha	水稲、葉たばこ	5.0 ha	大字田子
認農	G	水稲 肉用牛	3.0 ha 10.0 頭	水稲 肉用牛	3.0 ha 20.0 頭	大字田子
認農	H	水稲、葉たばこ、野菜 肉用牛	4.8 ha 64.0 頭	水稲、葉たばこ、野菜 肉用牛	5.7 ha 200.0 頭	
認農	I	水稲、葉たばこ、野菜	2.2 ha	水稲、葉たばこ、野菜	2.6 ha	大字田子
認農	J	野菜	2.5 ha	野菜	3.5 ha	大字田子
認農	K	水稲、葉たばこ 他 肉用牛	5.0 ha 89.0 頭	水稲、葉たばこ 他 肉用牛	5.0 ha 100.0 頭	大字田子
認農	L	水稲、葉たばこ 肉用牛	0.8 ha 3.0 頭	水稲、葉たばこ 肉用牛	0.8 ha 5.0 頭	大字田子
認農	M	水稲、葉たばこ 肉用牛	2.4 ha 9.0 頭	水稲、葉たばこ 肉用牛	2.4 ha 10.0 頭	
認新	N	野菜 肉用牛	0.3 ha 3.0 頭	野菜 肉用牛	0.3 ha 25.0 頭	大字田子
認農	O	水稲、葉たばこ 他 肉用牛	8.1 ha 11.0 頭	水稲、葉たばこ 他 肉用牛	9.5 ha 20.0 頭	大字田子
認新	P	野菜	0.3 ha	野菜	1.1 ha	大字田子
認農	Q	養鶏	525,760.0 羽	養鶏	701,720.0 羽	大字田子
認新	R	水稲、野菜	0.4 ha	水稲、野菜	1.4 ha	大字田子
計	18 経営体		55.2 ha 195 頭 525,760 羽		62.6 ha 394 頭 701,720 羽	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>農地の貸付け等の意向</p> <p>貸付け等の意向が確認された農地は、ありません。</p>
<p>農地中間管理機構の活用方針</p> <p>将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。</p> <p>中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。</p>

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(m <sup>2</sup> )		
		貸付け	作業委託	売渡
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
計	0 筆	0	0	0